

平成23年度事業報告について

【新事業創出育成事業】

1. 新事業創出支援施設管理運営事業

(1) インキュベーションセンター新規入居

① 入居者募集（起業支援室No.6）

〔募集期間〕 平成23年4月6日（水）～6月30日（木）

〔対 象 者〕 主として製造業等を営む中小企業者で、福島県内、特に郡山地域テクノポリス圏域（郡山市、須賀川市、鏡石町、石川町、玉川村、三春町の2市3町1村）の産業振興への寄与が期待され、大学等との共同研究開発等を通じて、新たな事業の創出の促進に貢献すると認められる者。

〔募集部屋数〕 事務室タイプ1室

〔申込件数〕 1社

○入居者審査委員会（※第1回入居期間延長審査と同時開催）

〔開 催 日〕 平成23年7月28日（木）

〔会 場〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター

〔内 容〕 書類審査・プレゼンテーション審査
・申込企業の入居を決定。

○入居開始 平成23年8月22日（月）

② 入居者募集（起業支援室No.7）

〔募集期間〕 平成23年5月2日（月）～平成23年10月31日（月）

〔募集部屋数〕 事務室タイプ1室

〔申込件数〕 1社

○入居者審査委員会（※第3回入居期間延長審査と同時開催）

〔開 催 日〕 平成23年12月21日（水）

〔会 場〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター

〔内 容〕 書類審査・プレゼンテーション審査
・申込企業の入居を決定。

○入居開始 平成24年3月1日（木）

(2) インキュベーションセンター入居期間延長

① 第1回入居期間延長申込

平成23年8月末に入居期間満了となる入居者のうち3企業の延長申込みに関する審査を実施。

〔入居期間延長申込者数〕 3企業

○入居者審査委員会（※入居者審査（第1回）と同時開催）

- 〔開催日〕 平成23年7月28日（木）
〔会場〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター
〔内容〕 書類審査・プレゼンテーション審査
・入居期間延長者3企業（延長による延べ入居期間2年または3年 3企業）を決定。

②第2回入居期間延長申込

平成23年8月又は9月に入居期間満了となる入居者のうち延べ入居期間が5年を超える4企業の延長申込みに関する審査を実施。

〔入居期間再延長申込者数〕 4企業

○入居者審査委員会

- 〔開催日〕 平成23年8月30日（火）
〔会場〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター
〔内容〕 書類審査・プレゼンテーション審査
・入居期間再延長者4企業（再延長による延べ入居期間6年 4企業）を決定。

③第3回入居期間延長申込（※入居者審査（第2回）と同時開催）

平成24年1月末に入居期間満了となる入居者（2企業）の延長申込みに関する審査を実施。

〔入居期間延長申込者数〕 2企業

○入居者審査委員会

- 〔開催日〕 平成23年12月21日（水）
〔会場〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター
〔内容〕 書類審査・プレゼンテーション審査
・入居期間延長者2企業（延長による延べ入居期間5年 2企業）を決定

(3)インキュベーションセンター退去

- ・平成23年4月22日 1社 退去
- ・平成23年11月30日 1社 退去

(4)インキュベーションセンター入居企業成果発表会

入居企業の研究成果を広く周知するとともに、起業化・事業化を支援するため、「入居企業成果発表会」を実施。

- 〔開催日〕 平成23年11月30日（水）
〔会場〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター
〔発表者〕 入居して1年以上経過する入居企業（9社）
〔参加者〕 100名
〔内容〕
 - ・記念講演
 - ・入居企業のプレゼンテーションによる成果発表
 - ・新規入居企業紹介
 - ・ポスターセッション

(5)国等の科学技術振興に係る支援事業

経済産業省所管の「戦略的基盤技術高度化支援事業（二次公募）」に、当財団が事業管理者となって3件応募したところ、以下の2件が採択された。（3カ年事業、1件当たり約9,700万円助成）

①「材料科学的なアプローチによる厚板鍛造の高度シミュレーション技術の確立」

〔研究内容〕

川下企業のニーズとして、高級腕時計・携帯の複雑3次元形状の難削材部品に対しては、低コスト・短納期での製造が求められている。板鍛造は、熟練工の暗黙知に依存しており、これらのニーズに応えられていない。本開発は、結晶構造解析など内部組織情報と、制御自由度の高いサーボプレスを組み合わせた高度シミュレーション技術を開発し、厚板鍛造の最適成形プロセスを確立し、開発期間1/3、生産効率3倍、コスト1/3を実現する。

〔共同研究体制〕

- ・林精器製造株式会社（総括プロジェクトリーダー）
- ・国立大学法人茨城大学（副総括プロジェクトリーダー）
- ・福島県ハイテクプラザ
- ・（公財）郡山地域テクノポリス推進機構（事業管理者）

②「標準コンダクタンスエレメントを用いた基準微小ガス流量導入装置の開発」

〔研究内容〕

高真空・超高真空を測定する電離真空計や分圧真空計は、適切な校正方法が無かったため、ほとんど校正されてこなかった。提案する装置は、ユーザーが、自分の装置で希望する気体を使って自分で校正することを可能にするもので、真空計の信頼性を飛躍的に上昇させることができる。これにより、高品質な真空環境を維持するための、部品・材料・真空ポンプが高信頼性化され、真空を用いた製造プロセスの品質を向上できる。

〔共同研究体制〕

- ・株式会社ピュアロンジャパン（副総括プロジェクトリーダー）
- ・独立行政法人産業技術総合研究所（総括プロジェクトリーダー）
- ・株式会社アルバック（川下企業）
- ・（公財）郡山地域テクノポリス推進機構（事業管理者）

2. 債務保証事業

(1)債務保証の実績

①平成23年度保証実績

0件。

②平成24年3月末現在の保証残高

保証残高は無し。

(2)制度説明会の実施

中小企業等の経営基盤の強化、新事業への挑戦や新技術・新製品の開発促進に資するため、郡山商工会議所工業部会・須賀川商工会議所工業部会及び郡山地域テクノポリス推進協議会の

視察研修会・交流懇談会において当財団の各種支援制度の説明会を開催。

〔開催日〕 平成24年3月2日（金）

〔会場〕 東北アンリツ株

〔参加者数〕 30名

〔内容〕 ・視察研修会
・制度説明会
・交流懇談会

【技術振興事業】

1. 研修指導事業

(1) 産学連携技術者研修事業

① 産学連携製造技術人材育成事業（マイスターズ・カレッジ2011）

ものづくり中小企業の技術者等を対象に、企業・大学等高等教育機関、産業支援機関等の産学連携により、基盤的製造技術（金属加工等）の高度化を図る人材育成事業を実施。

平成23年度は、製造業従事者の段階に応じた3コースで実施。

○先端加工技術コース

〔募集期間〕 平成23年8月16日～9月16日

〔研修期間〕 平成23年10月6日～12月15日

〔研修場所〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター
日本大学工学部

〔講師〕 日本大学工学部教授等 7名
中小企業診断士 1名

〔受講者数〕 25名（うち座学のみ1名、スポット受講者17名）

〔内容〕 ・座学研修 20時間（1回2時間×10回）
製造技術等に関する基礎から専門分野までの多様な知識を習得。
・実技研修 12時間（1回3時間×4回）
実際の機械操作等の実習を通して、必要な要素技術を習得。
・工場見学 1回
三菱伸銅(株)若松製作所（会津若松市）
（マシニングセンタ入門コースと併せて実施。）

〔検討会議〕 第1回会議 平成23年5月18日

○マシニングセンタ入門コース

〔募集期間〕 平成23年8月16日～9月16日

〔研修期間〕 平成23年10月6日～12月15日

〔研修場所〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター
福島県立テクノアカデミー郡山

〔講師〕 福島県立テクノアカデミー郡山 教務員 2名
(株)不二越 外 民間企業 3名

〔受講者数〕 16名

- 〔内 容〕 ・マシニングセンタのプログラミング（3次元 CAD/CAM）技術等を習得。
 プログラミング 12時間（1回3時間×4回）
 マシニング操作 4時間（1回2時間×2回）
 ・マシニングセンタに係る工具（刃物）の知識を習得。
 6時間（1回2時間×3回）
 ・工場見学 1回
 三菱伸銅(株)若松製作所（会津若松市）
 （先端加工技術コースと併せて実施。）
- 〔検討会議〕 第1回会議 平成23年6月2日
 第2回会議 平成23年6月16日

OMOTコース

- 〔募集期間〕 平成23年10月3日～11月30日
 〔研修期間〕 平成23年12月9日、16日
 〔研修場所〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター
 〔講 師〕 福島大学 共生システム理工学類 准教授 石岡 賢 氏
 〔受講者数〕 15名
 〔内 容〕 ・座学研修9時間20分（1講座70分×8回）
 集中講義を通して、MOT分野のマーケティングやイノベーションを習得。

②ちびっ子マイスターズ・カレッジ「炭づくり教室体験+α」

日本大学工学部と連携し、小学生と保護者を対象に、炭づくり体験や炭を使った実験をとおして、自然環境への考え方などを理解してもらうとともに、「ものづくり」に対する興味をもってもらうことを目的に開催。

- 〔開 催 日〕 平成23年7月30日（土）
 〔会 場〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター
 〔参加者数〕 11組 25名
 〔講 師 等〕 日本大学工学部 元物質化学工学科 助教授 柳沼 力夫 氏
 日本大学工学部機械工学科 助教 武樋 孝幸 氏
 日本大学工学部機械工学科 卒業研究生、大学院生
 〔内 容〕 ・フタ付きの空き缶を利用した炭づくり体験
 ・炭の電気伝導実験、試験管を利用した炭化実験等
 ・日本大学工学部「ロハスの家」見学

③産学連携IT人材育成事業

日本大学工学部と連携し、職場におけるICT活用のリーダーとなる方を対象に、システムやネットワークの基礎を学び直し、より高度で実践的な知識を習得できるような人材を養成するため、「ICTリーダー研修講座」を実施。平成23年度は、「ITパスポート試験」対策のほか、職場などですぐに役立つ様々な関数の活用など、より実践的な内容を盛り込んで実施した。

また、福島県高度情報化推進協議会から資金援助を受けた。

〔研修期間〕	平成24年2月11日（土）、16日（木）、18日（土）、25日（土） 3月3日（土）
〔研修場所〕	日本大学工学部
〔受講者数〕	14名
〔研修内容〕	「ICTリーダー研修講座」 ・2月11日 システム戦略、開発技術、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント、問題演習・解答解説 ・2月16日 コンピューターやシステムの構成要素、マルチメディア、データベース、ヒューマンインターフェース、ネットワーク、セキュリティ、問題演習・解答解説 ・2月18日 基本理論、アルゴリズムとプログラミング、問題演習・解答解説、まとめ：模擬問題・解答解説・補足 ・2月25日 実習：アプリケーションの活用（EXCEL） ・3月3日 実習：小規模ネットワーク構築、トラブルシューティング、ウィルス対策の実際

④技術高度化研修支援事業

圏域企業の技術力向上による取引拡大や技術経営の確率を図るため、新たに取り組む技術分野の習得を目的としたメーカー等への従業員派遣研修やMO T（技術経営）人材育成研修等に要する経費の一部を助成。（平成23年度：助成申請なし）

(2)科学技術交流事業

①研究会開催事業

日本大学工学部、福島大学、奥羽大学及び福島県ハイテクプラザ等との連携による研究会の開催。

○環境保全・共生科学技術研究会

(ア)第1回環境保全・共生科学技術研究会

〔開催日〕	平成23年9月13日（火）
〔会場〕	日本大学工学部 50周年記念館（ハットNE）
〔参加者数〕	80名
〔内容〕	・テーマ 「東日本大震災の教訓を生かすには～持続可能な地域社会の再生を目指して」 ・コーディネーター 日本大学工学部土木工学科 教授 長林 久夫 氏 ・講演 「2011年東北地方太平洋沖地震による地震動とその特徴」 ・講師 日本大学工学部土木工学科 教授 中村 晋 氏 ・講演 「地震による橋梁の被害とその特徴」 ・講師 日本大学工学部土木工学科 教授 岩城 一郎 氏 ・講演 「地震による地盤災害および液状化と対策」 ・講師 日本大学工学部土木工学科 准教授 仙頭 紀明 氏 ・講演 「福島県南部海岸における津波被災軽減効果の検討」

・講師 日本大学工学部土木工学科 教授 長林 久夫 氏

(イ) 第2回環境保全・共生科学技術研究会 視察研修会

〔開催日〕 平成23年11月18日(金)

〔視察先〕 ・那須野ヶ原用水ウォーターパーク(栃木県那須塩原市)
・ハイテクプラザ会津若松技術支援センター(会津若松市)

〔参加者数〕 17名

〔内 容〕 ・テーマ 原子力に依存しない再生可能な自然エネルギーである「小水力」と「太陽光」を利用した発電システムにいち早く取り組んでいる団体及び研究機関の視察研修

・アドバイザー 日本大学工学部土木工学科 教授 長林 久夫 氏

・那須野ヶ原用水ウォーターパーク(栃木県那須塩原市)

那須野ヶ原土地改良区連合では、那須疏水を活用し、疏水の歴史や小水力発電などの仕組みを学べる「那須野ヶ原用水ウォーターパーク」を整備している。この施設には、疏水の流れで回転し発電する直径6mの水車「ガラガラ水車」や小落差工を利用した「カラ・コロ水車」などが設置され、農業用水を利用したエネルギーの活用に向けたさまざまな取り組みを行っている。

・ハイテクプラザ会津若松技術支援センター(会津若松市)

福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センターでは、福島県のクリーンな自然エネルギー活用の最重点モデル事業として、東北地方では最大(導入時)の150kWの太陽光発電システムを導入。このシステムは、既存の形態にとらわれない、建築物と一体化したデザイン性の高い設置方法を採用しており、財団法人新エネルギー財団会長賞を受賞している。

○医療・福祉機器等関連新事業創出研究会

(ア) 第1回医療・福祉機器等関連新事業創出研究会

〔開催日〕 平成23年7月25日(月)

〔会場〕 ホテルハマツ

〔参加者数〕 75名

〔内 容〕 ・テーマ 「放射線にかかる輸入規制と放射線除去と処理について」

・コーディネーター 日本大学工学部電気電子工学科 教授 尾股 定夫 氏

・講演 「諸外国の放射線にかかる輸入規制の現状とその対策」

・講師 日本貿易振興機構 福島貿易情報センター 所長 永松 康宏 氏

・講演 「放射線除去と処理について」

・講師 (株)日本環境調査研究所 事業企画部 参事 茂木 道教 氏

○機能性材料・製造プロセス研究会

(ア) 第1回機能性材料・製造プロセス研究会

〔開催日〕 平成23年9月6日(火)

〔会場〕 ホテルハマツ

〔参加者数〕 82名

- 〔内 容〕 ・テーマ 「放射性物質を安全に処理するための素材や技術、日本大学工学部
「ロハスの家」研究プロジェクトにおける建築材等について」
- ・コーディネーター 日本大学工学部生命応用化学科 教授 西出 利一 氏
 - ・講演 「吸着材による放射性核種の分離と放射性廃棄物の処分」
 - ・講師 日揮（株） 技術研究所 所長 沼田 守 氏
 - ・講演 「ロハスの家に求められる機能材料」
 - ・講師 日本大学工学部機械工学科 教授 加藤 康司 氏

②循環型社会形成事業

総合的な「循環型社会形成」の実現を目指すため、モデル地区を設定し食品循環資源の再生利用計画を企画検討。また、関連事業者との意見及び情報交換、課題検討を行うため、「福島県食品リサイクル推進研究会」に参画。

③IT交流プラザ事業

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会と連携し、圏域企業やSOHO・個人等を対象に会員を募り、情報交換等の交流の場を設け、相互の連携を深めるとともに、圏域内企業のITの高度利用を促進し、ITを媒介としたコミュニケーションに重点をおくICT化社会への対応を支援するため各種セミナーや講演会を開催。

（参加事業所 163社 会員数 214名）

（ア）第1回IT交流プラザ 「効果の上がるWebサイトをつくるために」

営業戦略がビジネスとしての成果を求められるのと同様に、Webサイト戦略についても成果が求められる。Web戦略を立てることによって「Webサイトでなにをすべきか」を明確にし、その目的に応じた測定指標を立てることが重要であることから、効果の上がるWebサイトのポイント、および効果測定のポイントについて学ぶセミナーを開催した。

〔開催日〕 平成23年7月2日（土）

〔会場〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター

〔参加者数〕 39名（募集定員：40人 申込人数：42人）

- 〔内 容〕 ・テーマ 「効果の上がるWebサイトをつくるために」
- ・講師 (株)キノトロープ 津留 良太 氏

（イ）第2回IT交流プラザ 「DTP Booster こおりやま」

福島県内で初開催となる「DTP Booster こおりやま」では、Illustratorでの「直しに強い」データ制作のコツ、InDesignの強みや電子書籍化へのワークフロー、IllustratorとInDesignを合わせて作業効率をアップする方法、電子書籍の現状などについてのセミナーを開催した。

〔開催日〕 平成23年9月10日（土）

〔会場〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター

〔参加者数〕 29名（募集定員：40人 申込人数：34人）

- 〔内 容〕 ・テーマ 「DTP Booster こおりやま」
- ・講師 (株)スイッチ 代表 鷹野 雅弘 氏
 - ・アシスタント：大竹 奈緒 氏

(ウ) 第3回 IT交流プラザ 「CSS Nite in FUKUSHIMA, Vol.5」

5回目の開催となる今回は、東日本大震災後の開催であることから、テーマを「みんなで創ろう、福島未来」とし、今後の地元福島の復興に向けて何らかの「未来につながるヒント」を得るため、東北各地で活躍されている方を講師として招き、セミナーを開催した。

〔開催日〕 平成23年10月29日（土）

〔会場〕 ホテルハマツ

〔参加者数〕 40名（募集定員：80人 申込人数：43人）

〔内容〕 ・テーマ 「みんなで創ろう、福島未来」

・講師 青森県企画政策部広報広聴課 山本 章 氏
有限会社ステップアップコミュニケーションズ
取締役・プロデューサー 高橋 直氣

IWDD (Iwate Web Designers&Developers) 主催 鈴木 亮 氏
陣天 代表 佐藤 健 氏

・ゲスト 「復興の狼煙」ポスタープロジェクト

・司会・コーディネート (株)スイッチ 代表/CSS Nite 主催 鷹野 雅弘 氏
ディーシーティーデザイン 代表 蝦名 晶子 氏

(エ) 第4回 IT交流プラザ ～後述～

（「第12回産・学・官連携フォーラム」 日本大学工学部との共同主催）

※ IT交流プラザ事業として同時開催。

(オ) 第5回 IT交流プラザ 「Web Creators Pride(クリエイターズ・プライド)」

東日本大震災からの復興、ICT 分野での活動を支援する目的で開催された「がんばっぺ福島!! ホームページコンテスト」の表彰式と同時開催する特別講演としてセミナーを行った。

〔開催日〕 平成24年2月18日（土）

〔会場〕 ホテルハマツ

〔参加者数〕 36名（募集定員：40人 申込人数：37人）

〔内容〕 ・テーマ 「Web Creators Pride (クリエイターズ・プライド)」

・講師 (社) 日本 Web デザイナーズ協会 (JWDA) 会長
(株) アンティー・ファクトリー 代表取締役 中川 直樹 氏

④産学官交流会等開催事業

テクノポリス講演会・交流会の開催や関係機関による交流会・講演会への支援。

(ア) 第12回 産・学・官連携フォーラム（日本大学工学部との共同主催）

※ IT交流プラザ事業として同時開催。

日本大学工学部との共催により、産・学・官 組織の協力体制を強化させるため、各関係機関との連携促進に向けてフォーラムを開催。

〔開催日〕 平成23年11月10日（木）

〔会場〕 日本大学工学部 50周年記念館（ハット NE）

〔参加者数〕 180名

〔内 容〕 スローガン『『ロハスの工学』による持続可能な地域社会と
コミュニティ形成へのアプローチ』

○基調講演

- ・テーマ 「こうして実現した！ものづくり環境の復興」
- ・講 師 林精器製造株式会社 代表取締役社長 林 明博 氏

○一般講演

- 「『『ロハスの工学』による復興加速と持続可能な社会の実現に向けて」
- ・テーマ 「震災被害から学ぶ安全安心な地域創生への課題」
- ・講 師 日本大学工学部土木工学科 教授 中村 晋 氏
- ・テーマ 「建築とロハスによるこれからの住環境形成への取り組み」
- ・講 師 日本大学工学部建築学科 准教授 浦部 智義 氏

○パネルディスカッション

「震災復興への課題、そして残された価値による
新しい地域創生と世界への発信」

（イ）須賀川市企業間ネットワークセミナー

須賀川市内外における企業間のネットワークの拡大を推進し、地場産業の活性化を図るため、情報発信や企業間連携による研究開発、取引拡大等のきっかけづくりとして視察研修会を開催。

（須賀川市主催、共催事業として参加）

〔開 催 日〕 平成24年2月22日（水）

〔視 察 先〕 ・味の素製菓株式会社 福島工場（白河市）
・住友ゴム工業株式会社 白河工場（白河市）

〔参加者数〕 27名（19企業団体）

（ウ）「テクノポリス新春講演会」の開催

（郡山地域テクノポリス市町村協議会、郡山地域テクノポリス推進協議会、郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会と共催）

地域産業の活性化に関わる様々な分野の第一線で活躍する人物による講演会を開催。

〔開 催 日〕 平成24年1月25日（水）

〔会 場〕 ホテルハマツ

〔参加者数〕 80名

〔内 容〕 ・テーマ 「ふくしま復興へのチャレンジ」
～地域中小製造業は今、何をなすべきか～
・講 師 福島大学名誉教授
福島県復興計画検討委員会委員長 鈴木 浩 氏

（３）技術情報提供事業

①NUBIC（日本大学産官学連携知財センター）等との連携による技術情報提供事業

圏域企業の技術高度化、新事業創出の促進を図るため、NUBIC等との連携によるセミナーや定例相談会の開催等を通じて、大学の有する知的財産の企業への技術移転をはじめ、各種技術相談・指導、さらには共同研究の促進など、産学連携活動の円滑化を支援。

- 〔内 容〕 ・産学連携に関する相談
・技術に関する相談
・知財に関する相談

〔期 間〕 平成23年4月1日から平成24年3月31日まで（月1回程度）

〔相談件数〕 18件

〔出前セミナー in 企業〕 2件

2. 研究開発活動支援事業

（1）研究開発コーディネート事業

①技術コーディネーターの設置

産学官連携や企業間連携の推進を図るための技術コーディネーターを設置

3. 研究開発活動助成事業

（1）F/S（フィージビリティ・スタディ）支援事業

研究開発及び新事業創出に係る実現可能性調査に要する経費の一部を助成。

（平成23年度助成決定件数 0件）

（2）研究開発助成事業

新技術又は新製品の開発、生産工程の合理化又は製品の高付加価値化、これらに類する技術の高度化に関する研究開発に要する経費の一部を助成。

（平成23年度助成決定件数 3件）

・株式会社ザイン（郡山市）

〔助成金額 255万円〕

テーマ 『薄型テレビ用低価格ヒンジの開発』

内 容 生産コスト低減化を目的に、耐久性・安全性を担保した合理的な薄型テレビ用スタンド・ヒンジユニットの試作・評価を行うもので、現行品との置き換えが採用された場合、年間600万個以上の出荷が見込まれ、事業化に際しては、当社工場（本社・中国）及びテクノポリス圏域の企業を中心に生産する予定である。

・林精器製造株式会社（須賀川市）

〔助成金額 239万円〕

テーマ 『抗菌、耐摩耗性等を付与するアルミニウム特殊高速化処理』

内 容 当社の保有するアルミニウムの「アドバンス処理技術」を応用し、硬度・耐摩耗性・熱伝導性・放熱性・抗菌性などに優れた今までにない高性能の機能性金属材料を開発するもので、多種多様な産業分野に於いて、大きな競争力を持つ商品の開発を可能にすることが期待できる。

・日ノ出工機株式会社（郡山市）

〔助成金額 255万円〕

テーマ 『二酸化炭素を発生しないクリーンな発電装置の研究開発』

内 容 市販されているメタンガスから水素を精製する新しい技術「メタン放熱プラズマ直接分解方式」による水素生成装置を搭載した家庭用発電機を試作するもので、東日本大震災以降、特に注目を集めている再生可能エネルギー開発に寄与し、地球温暖化対策や低炭素社会の実現への貢献が期待できる。

（３）技術等審査委員会の開催

研究開発助成申請に係る審査会を開催。

・平成２３年 ７月２９日（金）

【地域技術起業化推進事業】

１．ものづくり起業家育成・支援事業

郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議を核として、企業同士の強みと強みを活かした事業連携を推進。

（１）企業連携（アライアンス）の促進

①会議・交流会等の開催

（ア）役員会

〔開催日〕 平成２３年６月１４日（火）

〔会場〕 ホテルハマツ

〔参加者〕 ７名

〔内容〕 ・２２年度事業報告及び収支決算報告について
・２３年度事業計画（案）及び予算（案）について
・２３年度役員（案）について

（イ）総会・交流会

〔開催日〕 平成２３年６月１４日（火）

〔会場〕 ホテルハマツ

〔参加者〕 ２０名

〔内容〕 ・２２年度事業報告及び収支決算報告について
・２３年度事業計画（案）及び予算（案）について
・２３年度役員（案）について

（ウ）全体会・交流会

〔開催日〕 平成２４年２月１５日（水）

〔会場〕 ホテルハマツ

〔参加者〕 ２８名

〔内容〕 ・アライアンス事業報告（研究会（環境・医療・機能性材料）及び受発注（企業訪問）関係について報告）
・講演「企業間ネットワークと地域産業振興」
福島大学 経済経営学類教授 末吉 健治 氏
・「福島県復興計画（第１次）」について
福島県商工労働部 産業創出課長 仲井 康通 氏
・進出企業によるプレゼンテーション
日本工営株式会社 福島事業所 機電システム部次長 松井 真 氏

（エ）コア企業会議及び会員企業ワークショップ（懇談会）

・第１回コア企業会議

〔開催日〕 平成２３年４月１８日（月）

- 〔会 場〕 ビッグパレットふくしま テクノポリス事務室
- 〔参 加 者〕 8名（コア企業4名、事務局4名）
- 〔内 容〕 ・東日本大震災による会員企業の被害状況について
- ・平成22年度実績報告について
- ・退会について
- ・役員会・総会の日程について

・第2回コア企業会議

- 〔開 催 日〕 平成23年5月18日（水）
- 〔会 場〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター 会議室
- 〔参 加 者〕 8名（コア企業4名、事務局4名）
- 〔内 容〕 ・役員会・総会について
- ・会員企業ワークショップについて
- ・東日本大震災による会員企業の被害状況について

・第3回コア企業会議

- 〔開 催 日〕 平成23年7月5日（木）
- 〔会 場〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター 会議室
- 〔参 加 者〕 8名（コア企業4名、事務局4名）
- 〔内 容〕 ・入会・退会について
- ・産学官連携フォーラムについて
- ・会員企業ワークショップについて
- ・技術コーディネーターからの報告事項（企業訪問等）について

・第4回コア企業会議及び会員企業ワークショップ

- 〔開 催 日〕 平成23年8月25日（火）
- 〔会 場〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター 会議室
- 〔参 加 者〕 14名（コア企業3名、会員企業6名、事務局5名）
- 〔内 容〕 ・入会について
- ・産学官連携フォーラムについて
- ・技術コーディネーターからの報告事項（企業訪問等）について
- ・会員企業ワークショップ
- 懇談テーマ「震災後の復興プランニングとその実践」
- （参加企業）(株)アーバン設計、オクト産業(株)評価センター、クリーン・エネルギー・ネットワークLLP、江信特殊硝子(株)、(株)コスモテック、(株)フジ機工

・第5回コア企業会議及び会員企業ワークショップ

- 〔開 催 日〕 平成23年9月21日（水）
- 〔会 場〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター 会議室
- 〔参 加 者〕 16名（コア企業4名、会員企業7名、事務局5名）
- 〔内 容〕 ・マイスターズ・カレッジ2011について
- ・技術コーディネーターからの報告事項（企業訪問等）について
- ・会員企業ワークショップ

懇談テーマ「震災後の復興プランニングとその実践」

(参加企業) 神田産業(株)、(株)坂口伝導工機、日本全薬工業(株)、(有)ぱすわーど、
林精器製造(株)、日ノ出工機(株)、(株)北斗型枠製作所

・第6回コア企業会議

- 〔開催日〕 平成23年10月27日(木)
〔会場〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター 会議室
〔参加者〕 8名(コア企業3名、事務局5名)
〔内容〕 ・産学官連携フォーラムについて
・会員企業ワークショップについて
・技術コーディネーターからの報告事項(企業訪問等)について

・第7回コア企業会議

- 〔開催日〕 平成23年11月17日(木)
〔会場〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター 会議室
〔参加者〕 9名(コア企業4名、事務局5名)
〔内容〕 ・全体会・交流会について
・会員企業ワークショップについて
・技術コーディネーターからの報告事項(企業訪問等)について

・第8回コア企業会議

- 〔開催日〕 平成23年12月20日(火)
〔会場〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター 会議室
〔参加者〕 8名(コア企業3名、事務局5名)
〔内容〕 ・全体会・交流会について
・「テクノポリス新春講演会」講師との意見交換会について
・技術コーディネーターからの報告事項(企業訪問等)について

・第9回コア企業会議

- 〔開催日〕 平成24年1月19日(木)
〔会場〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター 会議室
〔参加者〕 9名(コア企業4名、事務局5名)
〔内容〕 ・全体会・交流会について
・「福島県中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業」について
・技術コーディネーターからの報告事項(企業訪問等)について

・第10回コア企業会議

- 〔開催日〕 平成24年3月13日(火)
〔会場〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター 会議室
〔参加者〕 8名(コア企業3名、事務局5名)
〔内容〕 ・平成23年度事業実績について
・「福島県中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業」について
・技術コーディネーターからの報告事項(企業訪問等)について

(オ) 日本大学工学部 企業見学会

学生にものづくりに関わる職場を見学させ、技術者として仕事をするということの意

義を理解させると共に、地元企業と大学との連携を深めるため、企業見学会を開催。

- 〔開催日〕 平成23年10月4日（火）
〔受入先〕 カンタツ㈱、林精器製造㈱、㈱フジ機工
〔参加者〕 163名（機械工学科1年次生）
〔内容〕 事業概要説明、工場見学、質疑応答

（オ）日本大学工学部「産・学・官連携フォーラム」（第12回） ～再掲～

（カ）テクノポリス新春講演会 ～再掲～

（キ）テクノポリス新春講演会講師との意見交換会

テクノポリス新春講演会「福島復興へのチャレンジ～地域中小製造業は今、何をなすべきか～」本編を踏まえ、東日本大震災後の中小製造業の進むべき方向性について、より具体的かつ建設的な意見交換の場を設定。

- 〔開催日〕 平成24年1月25日（水）※新春講演会終了後
〔会場〕 ホテルハマツ
〔参加者〕 10名

②研究開発推進部会

（ア）環境保全・共生科学技術研究会 ～再掲～

（イ）医療・福祉機器等関連新事業創出研究会 ～再掲～

（ウ）機能性材料・製造プロセス研究会 ～再掲～

③受発注推進部会

（ア）受注実績報告

・発注者 A社

- 〔受注月〕 平成23年6月
〔受託アライアンス企業〕 エスケー電子工業㈱、B社、C社
〔内容〕 電気メーター製造

・助成団体（公財）郡山地域テクノポリス推進機構

- 〔受注月〕 平成23年8月
〔助成企業〕 日ノ出工機㈱
〔受託アライアンス企業〕 ㈱リゾーム、クリーン・エネルギー・ネットワーク LLP
〔内容〕 二酸化炭素を発生しないクリーンな発電装置の研究開発

（イ）企業訪問等

新規企業等122件（県内96件 県外13件 海外13件）

（2）起業家及び社会起業家育成支援事業

①起業家育成支援事業「ドリームゲートセミナー2010」

※3月中に教育機関等へアンケート調査を実施（送付）予定

②福島県社会起業家育成セミナー

(特定非営利活動法人福島県ベンチャー・SOHO・テレワーカー共同機構の主催、福島県インキュベート施設ネットワーク協議会(当財団は会員)が事業協力。平成23年度ふくしま産業応援ファンド事業)

社会起業に興味のある方などを対象に社会起業(ソーシャルビジネス)の考え方や手法についてのセミナーを開催。

〔期 間〕 平成23年10月1日(土)、2日(日)の2日間

〔会 場〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター

〔参 加 者〕 16名

〔内 容〕 第1回 「起業しよう!」と決意する前に

・講師 中小企業診断士 永島 巖 氏

第2回 企業に向けた準備「計画編」

・講師 中小企業診断士 永島 巖 氏

第3回 社会起業家の基本事項

・講師 千葉大学特認准教授 吉田 匡 氏

第4回 いざ起業「実践編」(Ⅰ)、(Ⅱ)

・講師 税理士 加藤 英夫 氏

第5回 起業してから大切な事

・講師 税理士 加藤 英夫 氏

第6回 「社会起業家」の事例に学ぶ

・講師 (有)ナガミ 慈愛のさと 寿光庵 代表取締役 渡邊 孝子 氏

第7回 ワークショップ

・講師 インキュベーションマネージャー 宮越 稔

③地域起業相談会

(福島県インキュベート施設ネットワーク協議会(当財団は会員)、特定非営利活動法人福島県ベンチャー・SOHO・テレワーカー共同機構の共同主催)

県中地域で、起業に関心がある方や志す方、新たに事業を始められる方などを対象にビジネスプランや経営課題等へのアドバイスなど、インキュベーションマネージャーによる相談会を開催。

〔日 時〕 平成24年1月31日(火) 午後1時~午後5時

〔会 場〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター

〔相 談 者〕 3名

(3) 研究会活動支援事業

①アドホック研究会

(ア) アドホック研究会

4月 定期総会

5月 平成23年度事業計画(月別テーマ)について

6月 研修会

演 題 「東日本大震災の被害状況と震災後の経済一般および諸産業の
動向について」

講 師 財団法人 福島経済研究所 上席研究員 三森和義 氏

7月 情報交換会

8月 企業視察

やまがたグリーンパワー（株）、やまがたグリーンリサイクル（株）、
（株）山形メイコー

9月 研修会（6次化関係）

演 題 「地域産業の6次化事業等を進めるにあたって」

講 師 福島県中小企業団体中央会

本部事業支援課長兼県北事務所長 高橋利春 氏

10月 産学連携セミナーへの参加、情報交換会

11月 視察研修会への参加（第2回環境保全・共生科学技術研究会）、情報交換会

12月 テーブルスピーチ

演 題 「電気電子情報系大学教育を取り巻く環境」

講 師 千葉工業大学工学部 電気電子情報工学科教授 西田 保幸 氏

1月 テクノポリス新春講演会への参加、情報交換会

2月 企業視察研修

（株）青森テクニ 外

3月 次年度計画等の検討、情報交換会

（イ）須賀川方部アドホック研究会

4月 定期総会

5月 平成23年度事業計画（月別テーマ）について

6月 意見交換

テーマ「震災から三ヶ月経過しての現状と今後の展望」

7月 会員企業訪問

にこにこバラ園(株)

8月 国内視察研修

和同産業(株)、(株)サトウ精機（岩手県花巻市）

花巻工業クラブとの交流会

9月 講 演

講 師 前・林精器製造株式会社 取締役相談役 林 洋一郎 氏

10月 海外視察研修

（SUS(株)タイ工場視察予定も同国の洪水被害拡大のため中止）

11月 企業視察 大越工業(株)

12月 テーブルスピーチ

演 題 「電気電子情報系大学教育を取り巻く環境」

講 師 千葉工業大学工学部 電気電子情報工学科教授 西田 保幸 氏

1月 講 演

- 演 題 「利益のピラミッドによる経営法」
講 師 グラントマト(株)代表取締役社長 南條 浩 氏
- 2月 国内視察研修
千葉工業大学(千葉県習志野市)
ノボザイムズ ジャパン(株)(千葉市美浜区)
- 3月 「NUBIC 出前セミナーin 須賀川方部アドホック研究会」
講 師 日本大学産官学連携知財センター
コーディネーター 松岡 義人 氏

(4) 「こおりやまユニバーサルデザインものづくりフェア2011」の共催

- 〔会 期〕 平成23年11月5日(土)、6日(日)
〔会 場〕 ハーモニーステーション郡山
〔入場者数〕 3,000名
〔出展者数〕 30団体
〔内 容〕 ユニバーサルデザインの考え方をものづくりにおける様々な分野に活用させ、企業・団体・学校にとって新たな分野への進出・マーケットの開拓など、ものづくり振興普及・市内製造業者の皆様・ユニバーサルデザインに配慮された商品を利用される皆様の発展に効果的なイベントとして、さらに市民の方々にもより一層ユニバーサルデザインの重要性を理解していただくために開催。

2. 「地域間産業交流支援(RIT: Regional Industry Tie-up program) 事業」の展開

①事業の概要

- 〔業 種〕 医療福祉機器
〔対象国・地域〕 韓国 江原道 原州市及び周辺地域の医療機器産業クラスター
〔国内の実施機関〕 公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構
〔韓国の実施機関〕 財団法人 原州医療機器テクノバレー
〔事業推進方針〕
- ・『郡山地域テクノポリス圏域及び近隣産業集積地の医療・福祉機器開発に関連する中小企業群』と『韓国 江原道 原州市及び周辺地域の医療機器産業クラスター』が、医療福祉機器開発に係る技術調査と技術情報の相互交換、高機能汎用技術の移転や医療用高性能部品等の相互流通や共同研究開発の推進を図り、双方向で企業化の促進を行う。
 - ・両地域で相互に医療福祉機器開発に係るセミナーやシンポジウム及び実地指導を行う。
 - ・両地域で開催される医療福祉機器産業関連の展示会に試作品・完成品、医療設備/システム・高品質工業部品等の出品を行い、個別商談を実施し成約を目指す。

以上の事業推進については、平成21年11月27日より「(公財)郡山地域テクノポリス推進機構」と「(財)原州医療機器テクノバレー」との間で『医療福祉機器開発 相互技術協力協定』を締結している。

②事業の活動内容

(ア) 韓国 (財) 原州医療機器テクノバレー訪問

- 〔日 程〕 平成23年4月17日(日)～4月24日(日)
- 〔場 所〕 韓国 江原道 原州市 (財)原州医療機器テクノバレーと「企業都市」開発地 他
- 〔参 加 者〕 (公財)郡山地域テクノポリス推進機構 技術コーディネーター 佐藤 彰
(財)原州医療機器テクノバレー 院長、企業支援室長以下6名
- 〔内 容〕 RIT:地域間産業交流支援事業(平成23年度事業はジェトロより採択済み)の実施内容と進め方についての協議・確認及び「3・11東日本大震災」後の年間事業日程の調整と事業内容の再確認。原州市庁/江原道庁への表敬訪問と原州/春川、ソウルの医療機器関連生産企業への訪問。

(イ) 第1回KWMEP 郡山地域-原州医療福祉機器開発プロジェクト推進会議

- 〔開 催 日〕 平成23年4月28日(木) 13:30～15:30
- 〔会 場〕 ビッグパレットふくしま 3階 当機構 会議室
- 〔参 加 者〕 企業側10社、1大学 その他事務局/ジェトロ等4名
- 〔内 容〕 ・平成22年度のRIT:地域間産業交流支援事業の報告とレビュー
・平成23年度のRIT:地域間産業交流支援事業の活動方針と内容説明

(ウ) RIT: 海外基礎調査 (韓国 江原道 原州地域)

- 〔日 程〕 平成23年5月2日(月)～6月15日(水)
- 〔調 査〕 韓国側の実施機関: (財)原州医療機器テクノバレーによる調査
- 〔調 査 地〕 「原州医療機器産業クラスター」の企業群
- 〔内 容〕 郡山テクノポリス圏域企業との研究開発等に狙いを定めたシーズの掘り起こしと原州地域のマーケットニーズの調査及び郡山地域企業の医療福祉機器技術開発とマッチングの可能性に係る調査を実施。報告書を取り纏めた。

(エ) 第2回KWMEP 郡山地域-原州医療福祉機器開発プロジェクト推進会議

- 〔開 催 日〕 平成23年6月29日(水) 10:00～17:00
- 〔会 場〕 ジェトロ日本貿易振興機構本部(東京)会議室
- 〔参 加 者〕 企業側10社 その他事務局/ジェトロ等8名
- 〔内 容〕 (財)原州医療機器テクノバレーと原州医療機器産業クラスターの企業(有力企業招聘)との技術協議・商談を実施。韓国より招聘された企業は「(株)CARETek」と「(株)Medical Supply」の2社。郡山地域の3企業が原州の企業と『技術開発協定』を締結した。

(オ) RIT: ジェトロ専門家による現地出張調査 (韓国 江原道 原州地域)

- 〔期 間〕 平成23年9月4日(日)～9月11日(日)
- 〔会 場〕 韓国 江原道 原州医療機器産業クラスター、春川バイオ産業クラスター
- 〔専 門 家〕 RIT: ジェトロ派遣専門家として
(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 技術コーディネーター 佐藤 彰
- 〔内 容〕 江原道 原州と春川に所在する医療福祉機器/バイオ産業など9企業の訪問と技術協議。特に原州地域の医療機器産業のマーケットニーズ調査及び郡山地域企業との医療福祉機器等技術開発に係る商談とマッチングの可能性調査を実施。

(カ) 第3回KWMEP 郡山地域-原州医療福祉機器開発プロジェクト推進会議

- 〔開催日〕 平成23年9月20日(火) 13:30～15:30
- 〔会場〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター
- 〔参加者〕 企業側4社、その他事務局/運送会社/ジェットロ等5名
- 〔内容〕 RIT:「現地基礎調査」と「現地出張調査」の報告と協議。第2回KWMEP 郡山地域-原州医療福祉機器開発プロジェクト推進会議の報告。「江原医療機器展示会 GMES2011」への参加・出展についての説明。

(キ) RIT: ジェトロ専門家による海外ミッション派遣 (韓国 江原道 原州地域)

- 〔期間〕 平成23年10月3日(月)～10月10日(月)
- 〔場所〕 韓国 江原道 原州市 「江原医療機器展示会 GMES2011」会場、原州医療機器産業クラスターの企業、仁川広域都市松島開発地域 他
- 〔専門家〕 RIT: ジェトロ派遣専門家として
(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 技術コーディネーター 佐藤 彰
- 〔参加者〕 企業3社 6名 その他事務局/ジェットロ等4名
- 〔内容〕 郡山地域の3企業「林精器製造(株)」「(株)東鋼」「(有)マサル精機」が「江原医療機器展示会 GMES2011」(開催日: 10月6日～8日)に出展した。韓国側企業との商談支援並びに「メディカルクリエーションふくしま 2011」への原州医療機器産業クラスター企業の参加に係る協議を実施。
同展示会期間中、郡山地域の企業1社が原州の企業と『技術開発協定』を締結した。

(ク) 韓国 (財)原州医療機器テクノバレー訪問

- 〔日程〕 平成24年1月10日(火)～1月15日(日)
- 〔場所〕 韓国 江原道 原州市 (財)原州医療機器テクノバレーと「企業都市」開発地 他
- 〔参加者〕 (公財)郡山地域テクノポリス推進機構 技術コーディネーター 佐藤 彰
(財)原州医療機器テクノバレー 院長、企業支援室長以下3名
- 〔内容〕 (財)原州医療機器テクノバレーとの平成23年度の事業実施内容に付いてのレビュー、次年度(平成24年度)事業実施の展望と原州側事業推進者の確認及び事業日程・内容の骨子を検討・確認。

(ケ) 第4回KWMEP 郡山地域-原州医療福祉機器開発プロジェクト推進会議と「メディカルクリエーションふくしま2011」展示会への出展・セミナーへの参加

- 〔開催日〕 平成24年2月21日(火)～2月22日(水)
- 〔会場〕 「メディカルクリエーションふくしま 2011」会場: 日本大学工学部70号館 他
- 〔参加者〕 韓国側: 4社 15名、1大学 その他事務局/ジェットロ18名
- 〔内容〕 韓国 原州医療機器産業クラスターの企業4社(有力企業招聘として)「Korea Dolki(株)」「(株)CARETek」「(株)Taeyeon Medical」「Daeyang Medical(株)」と「(財)原州医療機器テクノバレー」が『メディカルクリエーションふくしま 2011』に出展した。展示会での商談促進支援と併設セミナー「医療機器クラスター全国会議」における2名の韓国側有識者招聘による講演が行われた。講演では「原州市の MediPolis 開発構想」と「韓国 江原道における保健医療分野の開発構想」の2題が発表された。
「福島県」「郡山市」「福島県医療福祉機器研究会」「KWMEP: 郡山地域-

原州医療福祉機器開発プロジェクト推進会議」の関係者と原州医療機器産業クラスターとの「産業交流会」を実施した。

3. 地域技術起業化支援・助成事業

(1) 新技術・新製品市場開拓支援事業

自らが所有する優れた新技術、新製品の市場開拓や販路拡大につなげることを目的に行う、産業見本市等への出展や市場等の調査、テストマーケティング、アドバイザーの活用など戦略的マーケティングに要する経費の一部を助成。

①産業見本市等出展支援事業

(平成23年度支援決定件数 3件)

・有限会社マサル精機(三春町)

出展品「背骨測定機」〔助成金額 354,121 円〕

・株式会社東鋼(東京都)

出展品「医療工具、特殊切削工具」〔助成金額 500,000 円〕

・林精器製造株式会社(須賀川市)

出展品「医療デバイスへ提供できる新しい金属材料」〔助成金額 500,000 円〕

(2) 起業化助成事業

研究段階を終え、起業化の可能性が高まった地域技術を応用可能な段階へと成熟させ、製品化・商品化するため、商品・デザイン開発・情報収集、市場開拓などの事業に要する経費の一部を助成。

(平成23年度助成決定件数 0件)

(3) 審査委員会の開催

①技術等審査委員会

地域技術起業化助成申請に係る審査会開催はなし。

【広報活動事業】

1. 広報誌「サザンクロス」による広報

圏域内企業、関係行政機関、商工団体、研究会会員などに配布。

2. ホームページの開設

インターネット・ホームページ「テクノビジネス情報」により、テクノポリスの事業概要をはじめ、各種セミナー、研究会の開催案内・参加募集・開催報告、助成制度案件の募集など、企業に役立つ情報を提供。

また、平成22年1月より、テクノポリス／ニューメディア・コミュニティが組織する各会に所属している会員企業の情報を Web 上で公開。(「IT 交流プラザ会員」「アライアンス会員」などの登録のあった企業等から順次公開)

〔内 容〕	「テクノニュース」「事業概要・公開情報」「会員情報データベース」 「広報誌サザンクロス」「公募情報紹介」「リンク」	
〔訪問者数〕	10,113人	(11,920人)
〔ページ閲覧数〕	114,863回	(121,609回)

3. メールマガジンの発行

各種セミナーや研究会の開催案内・参加募集・開催報告、その他事業等の実施報告、助成制度等の情報を提供するため、メールマガジンを発行。

毎月2回程度発行（※15回）

3月現在登録者数 528名

【理事会等の開催】

1. 監査会

平成23年 5月25日（水）
・平成22年度事業及び決算等

2. 理事会

第1回 平成23年6月10日（金）
・平成22年度事業報告及び決算等
第2回 平成23年7月15日（金）
・評議員会の招集（決議の省略の方法による開催）
第3回 平成23年9月5日（月）
・評議員会の招集（決議の省略の方法による開催）
第4回 平成23年12月15日（木）
・評議員会の招集（決議の省略の方法による開催）
第5回 平成24年3月22日（木）
・平成24年度事業計画及び当初予算等の承認

3. 評議員会

第1回 平成23年6月22日（水）
・平成22年度事業及び決算等の承認
・補充評議員3名及び補充理事2名の選任
第2回 平成23年7月22日（金）（決議の省略の方法による開催）
・補充評議員2名及び補充理事1名の選任
第3回 平成23年9月20日（火）（決議の省略の方法による開催）
・補充評議員1名の選任
第4回 平成24年1月5日（木）（決議の省略の方法による開催）
・補充理事1名の選任

4. 技術等審査委員会

第1回 平成23年 7月29日（金）
・研究開発助成申請案件 3件